

整理番号	25003
評価対象年度	令和3年度
編成区分	当初

事務事業評価(事前)シート

提出日	令和2年12月7日
事業担当課	被爆継承課
担当者・内線	柳・66357

《基本情報》

事務事業名	被爆建造物等公開費(被爆遺構等情報発信事業)		<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡大
基本施策	B1 被爆の実相を継承します		
基本施策の目的 (対象と意図)	対 象	意 図	
	市民が	被爆の実相の継承を進めている。	
個別施策	B1-1 平和・原爆施設の整備及び被爆資料の保存・活用を図ります		
個別施策の目的 (対象と意図)	対 象	意 図	
	平和・原爆関連施設、被爆資料・被爆遺構が	適切に整備・保存され、被爆の実相が効果的に伝わるよう公開されている。	

《事業の目的及び現在の取組み概要等》

現状・問題点	被爆遺構等について、爆心地や平和祈念像については、多くの観光客が足を運んでいるが、それ以外はあまり知られていないこともあり、十分に見学されているとは言い難い。被爆者がいない時代が目前に迫っている中、様々な被爆遺構等から被爆の実相を学んでもらうことがますます重要となっている。
目標(誰(何)をどのような状態にしたいのか)	観光客等に爆心地や平和祈念像以外のあまり知られていない被爆遺構等にも足を運んでもらうことで、被爆の実相をより深めてもらいたい。
課題(どういことをする必要があるので)	平和公園を中心とした周辺の被爆遺構等をより知ってもらうため、爆心地など比較的、集客力が高い場所に情報発信板(QRコードを印刷したもの)を設置し、被爆遺構マップ情報を搭載することで、各遺構の位置情報だけでなく、遺構の概要や現在地からの次の被爆遺構へのルートや距離など、観光客が知りたい情報を提供し、各遺構への周遊につなげる。
上記の問題点に対して現在行っている事業の有無	有・ (無) ※有の場合は事業概要を添付(委員会資料等)
当該新規・拡大事業を行うにあたり、縮小・統合・廃止する事業	有・ (無) ※有の場合は事業概要を添付(委員会資料等) 新規・拡大事業を行うためには、今までやってきた取組みを検証し、成果や効果が低い事務事業の終了も含めた「選択と集中」に努めることが不可欠です。

《事業の概要》

事業の具体的内容 (対象、事業主体、事業期間、総事業費、事業費内訳等記載)	<p>被爆遺構等をまとめたマップサイトを作成する。観光客の各遺構等へのアクセスが容易となるよう、グーグルマップの道案内ナビ機能と各遺構等を連携させる。各主要施設に情報発信板を5か所(爆心地・追悼平和祈念館・原爆資料館・旧城山国民学校校舎・永井隆記念館)設置する。</p> <p>【事業期間】令和3年度 【総事業費】2,790千円 【事業費内訳】令和3年度 サイト作成費:1,023千円 情報発信板設置費:1,767千円</p>
--	---

業務量の増減	139.5時間の増						
市民等の参画と協働のまちづくり (取組みに☑をし、その内容を記載)	<input checked="" type="checkbox"/> 情報共有 <input type="checkbox"/> 参画 <input type="checkbox"/> 協働						
	公開・保存活用中の被爆遺構等をあまねく活用することにより、被爆の実相への理解を深めてもらう。						
事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 単年度繰り返し <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定 (年度～ 年度)						
予算額		金額(千円)	国	県	地方債	その他	一般財源
	当年度	2,790					2,790
	総額	2,790					2,790
	財源名称						
成果(活動)指標	指標(単位)	情報発信板(QRコード) アクセス件数					
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	目標値	15,800	17,380	18,960	20,540	22,120	
	成果指標及び目標値の説明	情報発信板(QRコード)へのアクセス数を成果指標とした。目標値について、初年度は令和元年度 個人の原爆資料館入館者数(31万6千人)の5%を設定し、次年度以降はコンテンツの充実により初年度対比で1割増(1,580件増/各年)とした。					

評価結果

(1)今後の事業の方向性と理由	
<input checked="" type="checkbox"/> 採択	<input type="checkbox"/> 所管案のとおり <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 事業規模拡大 <input type="checkbox"/> 事業規模縮小 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> その他
<input type="checkbox"/> 不採択	<input type="checkbox"/> 企画不十分
<input type="checkbox"/> 一部不採択	<input type="checkbox"/> 企画不十分
(2) 評価会議における指摘事項	
<p>平和公園を中心とした周辺の様々な被爆遺構を知ってもらうため、集客力が高い被爆遺構にQRコードを印刷した情報発信板を設置し、被爆遺構の概要や現地からのルート情報などを提供するものである。</p> <p>観光客の各遺構への周遊につながることや、被爆の実相の理解、継承につながることから、事業の実施は適当である。</p> <p>ただし、事業実施に対する意見は次のとおり。</p> <p>【市長ヒアリングまでに(予算計上にあたって)整理すべき事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光客が多く訪れる8月までに、情報発信板の設置及び既存の説明板の改修ができるようスケジュールを検討すること。 	